



為石小学校の合言葉 「ためし 最高! ~地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども~」



学校だより

○楽しく めあてをもって しっかり学ぶ
○正しく めあてを しっかり守る
○たくましく めあてに向かって しっかり鍛える



ためし



令和7年11月17日号 文責 上久木田 雄二

不登校はなぜ減らないのか

文部科学省から発表された統計によると、2024年度の不登校とされる児童の数は県で、1415人（前年度比137人増）となっています。

文部科学省では、年間30日以上欠席があれば不登校と認知しています。

10月30日付長崎新聞によれば、「かくれ校則」と名付けられたルールが指摘されていました。

- 授業開始3分前に着席し学習させる「3分前学習」
- 授業での「全員挙手」分からない人は当てないでの「ハンドサイン」
- 自主学習でノートを埋め尽くす
- 給食の配膳時間を競う
- ファスナーの位置を揃えてロッカーにしまう
- 授業態度を5点満点で毎日評価

明文化されない、これらのルールが「息苦しさ」を生み、不登校の原因となっているという小児科医の見解も書かれていました。

私の実践を振り返ると、どの取組も一度はクラスで試したことがあるので、驚きとともに反省もしたところです。

ところで、「日本型学校教育」という言葉を聞いたことはありますか。

言葉の前に「令和の」と付ける場合があります。

この日本型学校教育は、

学習指導と生活指導を一体化して指導する日本ならではの教育の良さ

として世界中に評価されています。近年、映画になったり、他国で実践されたりしたことが話題になりました。

学校は小さな社会とも言われます。学校でマナーやルールを指導するのは、社会性を養う一つ的手段だと私は思います。

マナーやルールは、人の数だけあるので、一つに統一することは難しいし「息苦しい」というのが、前述の長崎新聞の記事なのだと思います。

実際の社会の中で生きていくと、「見えないルール」や「なんとなく従わなければいけないマナー」は少なからず存在します。息苦しいと感じる前に、自己調整ができる自分であることの方を私は選びたいと思っています。

HPはこちら



二次元コード読み取り 「カラー版は、ホームページでご覧いただけます。」

